

たわわ

TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2009年5・6月合併号

98号

NPO法人

「地域で生きる障害者を支える会」

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

∞地域啓発・交流事業「写真展」終わる∞

障害者プランの実現に向けて



いつも私たちにとって最も忙しい、春から初夏の季節が過ぎました。ほっとして、ふと周囲をみれば、この一、二ヶ月で、自然界は成長を重ね、春の花は青い実をつけ、夏の花が育っています。

障害者たちは良いお天気の日を逃さず、職員やボランティアさんたちと散歩に出ます。真夏の厳しさに備えている感じですが、ご本人たちは屈託なく外の空気を満喫しています。

* * *

昨年から、障害者の高齢化に伴う問題、医療の充実や人手不足にかかわる問題と、私たちの身近なところで、課題が多く、しかも大きく... 現れてきました。

7回目を迎える『写真展』を実施するについては、毎年継続して来た中で、「いつも笑顔ばかり見せるのでいいのか」という迷いもあり、問題点を訴えていくのには「写真展では限界があるのでは」という自問自答。どのように展示内容をかえていけるのかということに対し、答えも見つけられないまま機首は下がるいっぽうでした。あわや、というところで上昇の気流をつかんだという感じでしょうか。

TAWAWA 増刊号④の中で、私たちの今訴えたい医療面での問題を出し、合わせてそれは、重度障害者だけの問題ではなく、障害を持ちながら暮す人たちの多くが必要を感じている事でもある、という事を知らせて行きたいと思いました。

写真とパネルは、介助に携わるスタッフたちの取り組みや工夫なども伝え、やっぱり“ステキな笑顔”ということになりましたが...

何とか遅れ気味だった体勢を立て直して無事に開催でき、そしておかげさまで、共感して下さる方たちが何人か入会して下さいました。

今年出された横浜市の障害者プラン（第2期）の中には、私たちが訴え続けてきた“将来にわたる安心”として、地域生活への支援、障害者の高齢化重度化に対する対応、医療の充実、などにつ

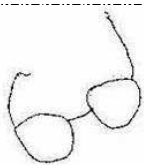


いて、きめ細かく明記されました。今度は、この施策が実現するようにしっかり見守っていかねばなりません。また、障害者たちの側でも、一般の市民の人たちに向けて、わかりやすく当事者の声を伝えていく努力をしてゆく必要があります。

そして重度障害者の問題は、障害者だけでなく、市民みんなの問題に強くつながる事であることを知ってほしいと思います。

いま私たちにできる事として、「写真展」の実施と、予算上限られた紙面ではありましたが、TAWAWA 増刊号④を地域の皆さんに配布できた事をご報告します。

今年の“悩み”をいかし、来年度はもう少しスタイルを変えたいと思いますので、ぜひとも大、小ささまざまな、ご意見ご提案をお寄せくださるようお待ちしております。



めがねの声

■改装しても 改善されてないなんて...

バザーの前日には、いつも青年クラブの人たちは日吉の地区センターでお菓子を焼きます。調理室は2階なのですが、オープンがたくさんあって、皆で使えるからです。

私が行って声をかけてもらおうと、ボランティアさんやメンバーの友だちが降りてきて、4人で車イスごと上げてくれます。

去年工事をしているという事を聞いて、青年クラブの人たちは、「今年からは、友子さんも車イスを担いでもらわなくてもいいね」と楽しみにしていました。

でも、変わっていませんでした。少し、ペンキを塗ったり、離れの部屋が出来たりしていただけでした。

階段は広いので、エレベーターは無理でも、簡単にイスのリフトや機械を取り付ける事はできるのに... 残念です。

今は、公共の場なのでスロープや、エレベーターが必要なのですが、建物が出来た頃は、障害者が使う事は考えていなかったのだと思います。

でも昔お掃除の道具が入っていた障害者用のトイレは、きれいになっていました。

* * *

別の話ですが、私は、時々買い物などの用事で、日吉駅のデパートへいきます。駐車場やエレベーターがあるので便利なのですが、トイレは3階の奥にしかありません。とても不便です。今は高齢者で身体の不自由な人も増えましたし、赤ちゃんや子どもを連れて人も、着替えの人も？使いますので、待っていないてはならないことも多いです。どの階にもあるといいな... と思うのですが、あまり考えると、まだまだだな... と重い気持ちになります。

たまに普通のお店に障害者用の配慮がしてあると、母と嬉しくなって“よし！”と言ったりします。使っても使わなくても調べてみる事も大切です。でも、設備がなくてはどこにも行かないというの、進んでいかないのだと思います。 (大原友子)

今月のよつばホーム

よつばホーム

あじさいの花が色鮮やかに咲く季節になりました。いかがお過ごしでしょうか。今月は女性メンバーの日常を紹介します。

<美容院>

いつも勢津子さんは近所の美容室で髪を切ります。その美容室はグループホームの近くでもあるので、しもだから帰宅後に一休みしてから出かけたり、土曜日の日中など散歩がてら髪を切りに行ったりしています。最初に行ったときと比べて、今は髪を切りながらのトークも毎回盛り上がっています♪ 今ではすっかり常連になり、「今日はどんな感じにしましょう？」



「そうね、これから夏になるからいつもより短めに切ってもらおうかしら♪」と美容師さんとのやりとりもスムーズです。

お店のかたは、勢津子さんがここの美容室へ行くようになって、よつばホームの存在を知ってくれたようです。新吉田町は大きな福祉施設が目立ちますが、よつばホームのようなグループホームが近所にあると知ってくれたことも良かったと思います。

<お手伝い>

花岡さんはいつも自分からお手伝いをしてくれます。牛乳パックを切り開いてくれたり、洗濯物を干してくれたら、タオルをたたんでくれたり・・・。

かすかに聞こえた「ピーピーピー」と洗濯機が終わった音を聞いて、「洗濯終わったよ～」 「干すから持ってきて～」と誰よりも早く、洗濯機が終わったことに気付いて教えてくれます♪

それから、たまに来る回覧板を次のガソリンスタンドへ届けてくれます。ただ届けてくれるだけじゃなく、しっかりとよつばホームの宣伝もしてきます。

第2よつばホーム

日中はめっきり暑くなりましたね。今インフルエンザが話題になっていますが、入居者の皆さんは体調も崩さず過ごしています。

ゴールデンウィークに友子さんは旅行へ。山田さん、阿部さん、章子さんの三人はグループホームでゆっくり過ごしました。

皆でテレビをみながらお喋りをしたり、ヘルパーさんとマツタリと過ごしたり。その横では熱心に好きな事をしている人もいます。

友子さんもグループホームに戻って来てから旅行の話をしてくれました。みんな思い思いの時間を過ごし週末は自宅に帰ります。

月曜日にグループホームでみんなの元気な笑顔を見ると、スタッフも笑顔になります。

毎月1回訪問看護にきていただき、血圧や体温など診てもらっていますが、みんな今月も異常はなく、来月も元気にのりきれそうです

ご入会ご継続ありがとうございます

《会 員》

富岡 久子	山田 きち	宮田 忠夫	福田 定子	花岡 満子
阿部八重子	鈴木 仁市	高島勢津子	石渡和実	

《賛助会員》

明田川節子	小堀 正章	石阪勢津子	佐藤 幸市	佐藤由美子
佐藤 栄吉	清宮 一恵	島崎八代子	高橋 えい	高橋 宏禎
大石富美子	桜井 徹	栗原 紀子	松山万里子	笠井満喜子
三上 文子	寺田 偕子	寺田 美奈	福田 徹	鈴木 富子
有田多恵子	加藤 峰康	前田美津江	小島三枝子	飯田 静子
箴島 義弘	戸川 英丈	戸川 清美	小堀 正巳	岡本美知子
高島 傑	小泉 寿子	石瀬 有治	高田美知子	丸山 洋子
赤瀬 福子	北川 道子	金子瑠美子	磯村 博子	安田 章子
鈴木 恒夫	戸川 慶建	戸川 澄子	坂上富美子	佐藤 政子
高島 稔	鎌田みね子	はかりや珠江	清水 健志	吉田 博子
川島 仁子	福田 政江	石浦 好子	西條 みえ	山田 秀夫
山田 玉枝	鈴木喜三枝	渡辺 正恵	阿部 太二	下野 正夫
下野 芳子	楠戸 滋夫	楠戸 エミ	笹瀬スマ子	下野 一夫
下野 節子	岩崎 信行	岩崎ふさ子	中木屋裕子	中木屋 将
中木屋摩耶	福島 綱子	野口 儀子	山田千枝子	高安 克典
高安 晴美	高安 恒晴	高安 希和	神代 孝子	松永 重年
松山伊智子	中山 欽一	小栗 芳久	荒井 洋一	荒井奈津美
宇賀持てる子	黒田 道子	仲鉢 申	福島喜美代	小林 辰雄

《団体賛助会員》

(有)横浜総合印刷	ゴールドケアサービス	パナホーム(株)
新吉田地区社会福祉協議会	港北区肢体不自由児者父母の会	

(21年6月1日現在)

《賛助会員》

小宮山裕子	西脇 久夫	西脇 五月	西脇美登里	村山 愛子
入江 勝通	中村孝太郎	平等 志成	白川 淳子	真野 妙子
黒澤 千草	石井 正夫	高島 幸子	志村 鈴代	(6月29日現在)

* 写真展配布のTANAWA増刊号④の発行のため5月、6月を合併号といたしましたため、掲載が遅れました事をお詫びいたします。

ご寄付

第7回写真展に際し、富岡元道様はじめ、ご来展の皆様より募金箱にた

くさんのご寄付を頂戴いたしました。厚くお礼申し上げます。